世田谷区からのお知らせ①　令和７年７月発行

世田谷区教育委員会事務局生涯学習課
世田谷区世田谷総合支所街づくり課

世田谷に残る世界に誇れる建築

駒沢1丁目1番地区の街づくりに関する取組みについて
～令和6年度の取組み～

【写真】旧林愛作邸　玄関

このお知らせは、今年度予定する意見交換会・懇談会に向け、昨年度までの取組み状況について改めて発信・共有させていただくことを目的とし、駒沢1丁目1番地区周辺にお住まいの住民の方々へお配りしております。

旧林愛作邸をご存じですか？

世田谷区に現存する『旧林愛作邸』は、近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトの設計思想を色濃く残す貴重な建築物です。

フランク・ロイド・ライトってどんな人？

1867年、アメリカ合衆国生まれの建築家で、敷地環境や生活スタイルとの調和を重視した「有機的建築」を提唱し、後世の建築家に大きな影響を与えました。近代建築の三大巨匠とも称され、「フランク・ロイド・ライトの20世紀建築作品群」は、ユネスコ世界遺産に登録されています。

林愛作ってどんな人？

1873年群馬県に生まれ、若くして渡米した後、東洋美術の貿易会社のニューヨーク支店長を務めていた1909年、渋沢栄一、大倉喜八郎に請われ、日本人として初の帝国ホテル支配人に就任しました。ホテル新本館の建設にあたり、貿易商時代から旧知のフランク・ロイド・ライトを設計者として招聘（しょうへい）し、フランク・ロイド・ライト作品を日本に残すきっかけをつくりました。

これまでの説明会の取組み概要と今後について

【令和6年度】

7月　説明会①（現在の取組み状況報告）
10月　説明会②（旧林愛作邸の保存及び活用に向けた区の基本的な考え方の説明、所有者より旧林愛作邸の保存に向けた考え方の説明）
2月　説明会③（旧林愛作邸を現位置に保存するための保存範囲の考え方）

【令和7年度】

7月　世田谷区からのお知らせ①　←今回はこちら
主に旧林愛作邸の紹介と重要性についてご紹介します。

8月　世田谷区からのお知らせ②
主に旧林愛作邸保存に向けた土地利用の考え方についてご紹介します。

9月　世田谷区からのお知らせ③
主に旧林愛作邸の保存範囲についてご紹介します。

10月～11月　意見交換会・懇談会（予定）
周辺住民の皆様の意見を伺う会を設けます。日程・詳細が決まりましたら、今回同様に、事前にお知らせします。

令和6年7月の説明会資料について

説明会当日の資料は世田谷区のホームページに掲載していますので、下の二次元コードから確認することができます。

配布資料1　配布資料2

これまでの取組みについて

その他これまでの取組み状況も世田谷区のホームページ（検索 ID 番号:18122）に掲載していますので、右の二次元コードをご確認ください。

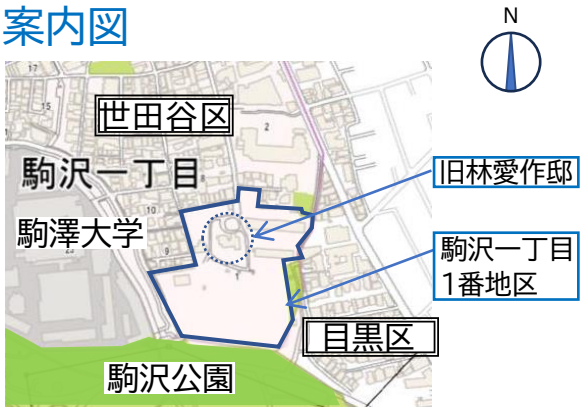
【重要文化財】自由学園明日館
（豊島区西池袋）

【重要文化財】旧山邑家住宅
（兵庫県芦屋市）

【国登録有形文化財】旧帝国ホテル中央玄関
（愛知県犬山市）

旧林愛作邸
（世田谷区駒沢）

駒沢1丁目1番地区周辺案内図



フランク・ロイド・ライトと世界遺産

フランク・ロイド・ライトの作品群は 2019 年にユネスコ世界遺産に登録されており、旧林愛作邸もその思想を受け継ぐ建築として高い評価を受けています。日本に現存するフランク・ロイド・ライトの建築作品4棟のうち、2棟が重要文化財（自由学園明日館、旧山邑家住宅）、明治村に移築された旧帝国ホテル中央玄関が国登録有形文化財に登録されています。（左写真参照）

旧林愛作邸の概要と特徴

旧林愛作邸は、帝国ホテルの支配人であった林愛作の自邸として、大正 7 年頃に建築されました。主屋は、フランク・ロイド・ライトが得意とした、水平的な広がりを持つ「プレーリースタイル」の特徴を持ち、周辺環境との調和を重視し、建物と敷地が一体となるように設計されています。主屋に付帯して配置された池、守衛室や門柱、建物へのアプローチなども、建築当初の雰囲気をよく残しています。

世田谷区の取組み

世田谷区は、歴史的建造物である旧林愛作邸（周辺の池等の庭園を含む）の現位置での保存を前提とした魅力あるまちになる様、当該地の現況及び課題等を整理するとともに、周辺にお住まいの皆様のご意見を伺いながら検討しています。

問い合わせ先

①旧林愛作邸について…
世田谷区教育委員会事務局生涯学習課
担当：湖東（ことう）
TEL：03－3429－4264
FAX：03－3429－4267
②街づくりについて…
世田谷区世田谷総合支所街づくり課
担当：佐藤、岡澤、金濱
TEL：03－5432－2872
FAX：03－5432－3055